



社会保険労務士法人つむぎ

つむぎだより No.50

＝年度更新の時期です＝

6月に入り、そろそろジメジメとした日が続くことになります。皆様はいかがお過ごしでしょうか？

今年も、労働保険の「年度更新」の時期がやってきました。毎年なので、なるべく前もって準備をし、慌てないように・・・と思っているのですが、なかなか予定通りにはいきません。

加えて、給与計算業務では「定額減税」もスタートします。「定額減税」とは、今年のための減税制度で、所得税では(本人＋被扶養者)の人数×3万円を上限額とし、その額に達するまで、給与、賞与から所得税を引かないという制度です。(最終的には年末調整で差引されますが...)

住民税の1人につき1万円の減税は、市区町村から届く通知書どおりですが、6月から新年度となりますので、特別徴収額の一斉更新が必要です。

給与計算に当たっては、扶養家族の確認や、お客様への案内等もあり、いつも以上に、時間に余裕のない日々になりそうな予感がしています。(川東)

1、「仕事のリソース」の重要性

働き方改革の流れの中で、「仕事の質」をより重視する傾向がありますが、ある調査研究では、日本の労働者の「仕事の質」には、正規雇用と非正規雇用とで、あまり大きな違いがなく、大きく違うのは「収入の質」だけということがわかりました。

さらに、性別や正社員・非正社員・パート等の就業形態にかかわらず、多くの労働者が過度な仕事の要求にさらされており、質の高い仕事をするには「仕事のリソース(機会・人材・時間等)」が不十分だという結果も示されました。

●仕事の質を高めるリソース

この調査によると、仕事の質を高めるには、次にあげる3つの「仕事のリソース」が十分にそろっていることが必要となります。

【裁量と学びの機会】

仕事の順序・やり方の裁量がある。

上司や同僚から新しいことを学ぶ機会がある。

【良いマネジメント】

業務に秩序・計画性がある。

上司が親切心と思いやりをもって接してくれる。

上司を信頼できる。

上司や同僚から自分の仕事へのフィードバック・アドバイスを得る機会がある。

【良い人間関係】

部署に、共に働こうという姿勢がある。

仕事に関連した情報の共有ができています。

新しいアイデアを考えたり実行に移すために協力しあっている。

●高い要求にもへこたれない組織を

長時間労働の削減が叫ばれていますが、長時間労働が生まれる背景には、仕事のゴールが明確ではない・業務の計画や段取りが不十分である・必要なコミュニケーションが欠如している等、「仕事のリソース」に関わる数々の問題が存在しています。

負荷の高い仕事や高い要求の仕事にもへこたれない組織・職場を作るためには、「仕事のリソース」を整え、社員の健康感、仕事満足度、メンタルヘルス、仕事に対してポジティブな心理状態を高めることが重要です。

一度、自社の「仕事のリソース」について点検してみたいはいかがでしょう？

【労働政策研究・研修機構『「仕事の質」からみる働き方の多様性』】

<https://www.jil.go.jp/institute/discussion/2024/24-03.html>

★算定基礎届のお知らせ★

本年度の健康保険及び厚生年金保険の算定基礎届の提出期限は

7月10日(水)です。

6月下旬には年金事務所から茶封筒が届きます。同封のパフレットに従ってご記入、ご提出ください。



＝季節のコラム＝

梅雨は植物には欠かせませんが、どうしても晴れてほしい時は「てるてる坊主」を作ったものです。

古来、風の向き、雲の動き、潮の速さなどをおしはかり、航海する船のコースを検討した『日和見』という技術に長じることは、船頭の重要な資格とされました。もちろん海だけでなく、天候は農耕にも大きな影響を及ぼします。農村では「日和申し」といって、晴天を祈願する祭りがあり、形代(かたしろ)として人形をまつたようです。それがやがて『日和坊主』や『てるてる坊主』といった、子供のまじないになったとか。

つるすときは、顔を描かず、晴天になった後、お礼に瞳を書き入れて、お神酒を供えて川に流す、というのが正しい作法だそうです。(鹿島)



社会保険労務士法人つむぎ

〒540-0012

大阪市中央区谷町2丁目1番22号

フェアステージ大手前ビル7階

電話: 06-4397-3358

FAX: 06-4397-3359

Email: info@sr-tsumugi.or.jp

営業時間

平日 9:00～18:00

HP: <https://sr-tsumugi.or.jp/>

2、「熱中症特別警戒アラート」運用開始

令和6年4月24日から、従来の熱中症警戒アラートに加え、「熱中症特別警戒アラート」の運用が開始されました。

「熱中症特別警戒アラート」は、気温が著しく高くなり、①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温 の3つを勘案した指標であるWBGT指数が、都道府県内のすべての観測場所に置いて『35』に達すると予測され、熱中症による重大な被害が生ずるおそれがある場合、環境省から発表されるものです。

◆危険な暑さから自分と周りの人を守る

「熱中症特別警戒アラート」が発表された際には、以下の行動が求められます。

- ・涼しい環境で過ごすこと
- ・高齢者、乳幼児など、熱中症にかかりやすい方がエアコン等による涼しい環境で過ごせているか確認すること
- ・熱中症になりにくいと思われる人も、水分・塩分を補給すること
- ・校長や経営者、イベント主催者等は、熱中症対策を徹底できているか確認し、徹底できていない場合は、運動、外出、イベン

ト等の中止、延期、変更(リモートワークへの変更を含む)を判断すること

また、「熱中症特別警戒アラート」が発表された自治体では、熱中症を予防する行動を徹底するだけでなく、公共や民間のエアコンが効いた施設を、「クーリングシェルター」としてあらかじめ指定し、暑さをしのげる場所として開放することが求められています。

◆暑くなる前から対策を！

日本気象協会の発表によると、今年の5～7月の気温は、東日本や西日本、沖縄・奄美でいずれも平年より高く、北日本では平年並みか高い、としています。

本格的に暑くなる前から、暑さに体を慣れさせること(「暑熱順化」という)を意識した動きや生活を行い、熱中症対策に取り組んでおきましょう。

【一般財団法人 日本気象協会「熱中症ゼロへ」】

<https://www.netsuzero.jp/>



3、今月のおすすめ本

今月は「きみのお金はだれのためーボス」が教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」(田内学/東洋経済新報社)をご紹介します。

amazonでベストセラーだったので、読んでみました。改めて「お金の意味」を考えさせられる本です。

普段、お金で解決できていると思っっている色々な問題は、実は『お金』が解決しているのではなく、『お金を受け取って働いてくれる人』が解決してくれている、ということです。

つまり、「お金の意味」は、解決してくれる人やモノを選べる状況にあって、初めて生

じるもので、将来の備えになるのは『お金』ではなく、生産力や社会基盤(インフラ等)だ、ということでした。

小説仕立てで書かれてあって、ラストは感動ものです。

ぜひ、読んでみて下さい。(川端)

